

広島県立佐伯高等学校 学校運営協議会の会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和元年 6 月 28 日（金） 16：30～17：45	開催場所	佐伯高等学校会議室
出席委員	<p>人数：10 人</p> <p>河野義刀（旧佐伯町助役，佐伯高校同窓会会長，友和の里理事長）</p> <p>岡田俊章（旧佐伯町教育長，佐伯高校同窓会常任理事）</p> <p>松浦伸二（廿日市市民会議佐伯支部支部長）</p> <p>酒井恵子（元 P T A 会長）</p> <p>小田大介（廿日市市立佐伯中学校長）</p> <p>鳥平二郎（廿日市市文化協会佐伯支部長）</p> <p>藤田 緑（P T A 会長）</p> <p>須藤 薫（比治山大学参事，元可部高校校長，元広島県教育委員会学校経営支援課総括指導主事）</p> <p>戸田浩暢（広島女学院大学教授）</p> <p>近藤哲生（佐伯高等学校校長）</p>		
会議の概要	<p>1. 委員紹介</p> <p>2. 校長説明</p> <p>経営方針について説明</p> <p>本年度目標</p> <p>① 地域から信頼される学校としての存続</p> <p>② 社会に出て通用する人材の育成</p> <p>③ 地域から信頼される開かれた学校</p> <p>ご意見を頂きたい内容について</p> <p>① 広報活動について（効果的な PR 方法）</p> <p>② 心の問題について（カウンセラーの導入）</p> <p>③ 生徒募集の方法について（効果的な募集方法）</p> <p>④ 下宿の確保の方法について</p> <p>⑤ 老朽化する施設・設備の管理・整備について</p> <p>⑥ 生徒・職員のボランティア活動参加の方法について</p> <p>⑦ 進路保障・基礎学力充実について（個別指導の強化の方法）</p> <p>⑧ 部活動の活性化について</p> <p>3. 学校運営に係る協議</p> <p>戸田委員が進行役で，ご意見を頂きたい内容①～⑧について協議を進める</p> <p>① 広報活動について（効果的な PR 方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長からの説明 本校のホームページのリニューアルを行いたい。中学生から見て魅力あるものにするにはどうすればよいか ・各委員からの意見 過去の佐伯高校のイメージの固定化が妨げとなっている。 学習面でも頑張っている様子が小中の保護者に伝わっていないのではないか。 交通費補助，指定校推薦など本当の良さが伝わっていない。 廿日市市が広報紙で PR してみてもどうか。 中学校の PTA 総会等で中学生の保護者に直接 PR していく。 広報紙，SNS の活用を進める。 中学校との連携を密にして PR を進める。 		

	<p>② 心の問題について（カウンセラーの導入）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長からの説明 ニーズがあるが、県でのカウンセラーの措置ができず。別途配置も予算的に難しい。 ・各委員からの意見 引き続き県への配置を要望していく。 <p>③ 生徒募集の方法について（効果的な募集方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員からの意見 生徒数が80から160となった島根県島前高校の取組を参考にする。 小学校の時から住み続けたい地域と思えるよう、地域への想いを培っていく。佐伯高校のファンを増やしていく。 他の自治体の情報の収集分析をもとに、廿日市市をどう巻き込んでいくかがポイント。 <p>④ 下宿の確保の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長からの説明 県外、県内遠方から本校を志望する生徒のための、下宿先の不足が見込まれる。 <p>⑤ 老朽化する施設・設備の管理・整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長からの説明 県の予算は限られている。地域の力を借りながら整備していくことができないか。 <p>⑥ 生徒・職員のボランティア活動参加の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長からの説明 トライアスロン大会へのボランティア参加を学校全体で行っている。 <p>⑦ 進路保障・基礎学力充実について（個別指導の強化の方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長からの説明 基礎学力不足が問題となっている。小学校からの連携で学力をつけていくことで進路実現が可能になる。 <p>⑧ 部活動の活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長からの説明 部活動の指導者が不足している。活性化する部活動は指導者のもとに生徒が集まってくるという実態がある。 <p>4. 各委員からの意見</p> <p>中学校に佐伯高校に生徒が入学して学力が伸びていることを知ってもらうことができれば中学校の進路指導の先生も佐伯高校を勧めることができる。中学校の先生の理解が必要。 昨年の入学者数の減の原因はPR不足にあるのではないかと？ 佐伯高校へ進学，他校へ進学，その先の進路先を見据え，地元へ就職するとすれば，佐伯高校への進学もありうるのではないかと？ 子供の縦のつながり，親同士の縦のつながりを深めていく。 授業研究をして，授業力，指導力をつけるそれが子供に返ってくる。</p> <p>5 まとめ</p> <p>地域外からの入学者も増えている状況はあり，地域内からの入学者が減少したことが生徒数減となったことの一の原因である。 長期的な見通しのもと，対策を立てていくことが必要。</p>
次回開催予定日	未定